

令和4年度 学校評価アンケート集計結果（後期）

千葉市立越智小学校

学校教育目標 「自ら考え 自ら学ぶ そして実践する子どもの育成」

学校評価アンケートの集計結果

集計方法は、そう思う→4点 やや思う→3点 あまり思わない→2点 思わない→1点

として、それぞれの人数を乗じて合計を算出し、小数第1位までの平均値で記載。

【1】児童アンケート

	質 問 内 容	3 前	4 前	4 後
お・・・「思いやりの心を持ち、明るく行動する子ども」の育成				
1	学校へ行くのが楽しい	3.5	3.5	3.5
2	自分からあいさつができる	3.3	3.4	3.3
3	友達と仲良くしている	3.6	3.5	3.5
ち・・・「知恵を出し合い、進んで学習する子ども」の育成				
4	学習したことはだいたいわかる	3.1	3.2	3.2
5	家では、宿題と次の日の準備を忘れずにしている	3.3	3.3	3.2
の・・・「伸びようと、丈夫な体作りに励む子ども」の育成				
6	外遊びなどで、体力づくりをしている	3.4	3.4	3.4
7	食事の後は かならずはみがきをしている	3.4	3.4	3.3
こ・・・「根気よく、努力する子ども」の育成				
8	そうじをがんばっている	3.6	3.6	3.5
9	係や委員会の仕事を、最後までやろうとしている	3.6	3.4	3.6

【考察】

全ての項目が3ポイント以上であり、概ね良好な数値になった。大きく変動した項目はないが、毎年重点と位置付けてきたあいさつが0.1ポイント下がっているのが気になる。児童会による挨拶運動等の働きかけがないと数値が落ちてしまうのだろうか。1年間継続するというのはなかなか難しいものである。

係りや委員会活動は頑張っており、0.2ポイント上がっている。各担当教員の声かけ働きかけが効果的に作用しているので、今後も維持継続したい。

【2】保護者アンケート

	質 問 内 容	3 前	4 前	4 後
お・・・「思いやりの心を持ち、明るく行動する子ども」の育成				
1	子どもたちは楽しく学校に行っている	3.8	3.7	3.6
2	子どもたちは、自分からあいさつができる	3.2	3.3	3.2
3	子どもたちは、友達に優しく接することができる	3.5	3.5	3.4
ち・・・「知恵を出し合い、進んで学習する子ども」の育成				
4	学校は子どもたちに、基礎基本の学力を定着させるよう努めている	3.2	3.1	3.3
5	子どもたちは、家庭学習や学習準備の習慣が身に付いてきている	3.0	3.1	3.0
の・・・「伸びようと、丈夫な体作りに励む子ども」の育成				
6	子どもたちは、外遊び等進んで体力づくりに取り組んでいる	3.4	3.4	3.4
7	家庭では、食後の歯みがきは欠かさず行っている	3.3	3.1	3.2
こ・・・「根気よく、努力する子ども」の育成				
8	子どもがするお手伝いや仕事を決めてある	2.7	3.2	2.9
9	子どもは自分の仕事を最後まで投げ出さずに取り組んでいる	2.9	3.0	3.0
開かれた学校へ				
10	学校はわかりやすく情報（学校だより等）を伝えている	3.2	3.5	3.5
11	学校での子どもの様子を見に行く機会は適当である	3.3	3.4	3.3
12	学校へは安心して通わせることができる		3.6	3.6

【自由記述・・・主なものを掲載】

- クラスの人数が少ないこともあり、先生方がよく見てくれていると思います。楽しそうに学校に通ってくれているので安心していきます。(他3名)
- 学校以外で会ってもみんな声をかけてくれます。生徒も先生方もみんな仲良くあたたかい雰囲気でありがたいです。
- 学校やセーフティーウォッチャーの方々、保護者による見守りなど、いつも有難く思っております。
- トイレの改修工事をしていただき、子供がトイレがきれいを使いやすいと喜んでいきます。(他3名)
- 球技大会に向けて体育館が使えないのは残念ですが、外のゴールで仲良く練習し楽しめている様子を聞いています。
- 校舎前の花壇の散らかり方が気になります。
- マスクと黙食を廃止してほしい。
- クラスの人数が少ない中、今後友達関係が上手くやっっていけるか少し不安です。
- 基礎学力があまり付いていない気がします。苦手な所はきちんと克服してから次の課題に移ることができたらいいかと思いいます。
- 放課後、集団で道いっぱいに広がり公園から公園へ移動するのを見かける。道路の歩き方(他1名)
- 児童のみんなが挨拶ができるようになるといいかなと思う。
- クラブ活動が少ないようなので、もう少し増えるといいと思いいます。

【考察】

ほぼ全ての項目で3.0を超えている。挨拶について、前期挨拶運動等で成果を上げていたが後期0.1ポイント下がっている。後期も行事的な取り組みを計画し、年間通じてあいさつを意識付けたい。学力や小規模校での人間関係における不安については、あきらめることなく解消に向け積極的に取り組みたい。研修の多様化、授業改善、朝の時間の工夫等、校内では協議検討中である。子どもが家で行う手伝いや仕事等を決めている家庭は、数値だけ見ると少ないようである。

また、後期はおちの子祭りの参観復活等により、学校の参観機会を増やしたがポイントが0.1下がっており、もっと保護者の要望に応えるような「開かれた学校」の姿について検討したい。学校だよりのデジタル配信は保護者の評判も良く、来年度の完全デジタル化にむけて準備している。「学校の安心度」については3.6と高かったが、安全指導への要望の声もあることから再度指導を徹底し、今後もこの数値を継続できるよう学校全体で取り組んでいきたい。

【3】教職員アンケート

	質 問 内 容	3前	4前	4後
お・・・「思いやりの心を持ち、明るく行動する子ども」の育成				
1	子どもたちは、学校で楽しく過ごしている	3.4	3.7	3.6
2	子どもたちは、自分からあいさつができる	2.9	3.0	3.3
3	子どもたち同士仲良くする趣旨を生かした活動に努めている	3.3	3.3	3.4
ち・・・「知恵を出し合い、進んで学習する子ども」の育成				
4	子どもたちは、学年の基礎・基本の学力が定着している	2.6	2.5	2.5
5	子どもたちは、家庭学習の習慣が身に付いている	2.8	2.8	2.8
の・・・「伸びようと、丈夫な体作りに励む子ども」の育成				
6	外遊び等、子どもたちは進んで体力づくりに取り組んでいる	3.2	2.7	3.7
7	子どもたちは、給食後の歯磨きを欠かさずに実施している	3.9	3.7	
こ・・・「根気よく、努力する子ども」の育成				
8	子どもたちは、清掃によく取り組んでいる	3.4	3.2	3.1
9	子どもたちは、係や委員会活動の仕事に責任を持って取り組んでいる	3.3	3.2	3.2

【考察】

例年課題としていたあいさつについては、今までよりも挨拶ができようになったと手応えを感じている。しかし、本校においての重要課題である学力の定着は、家庭学習の取り組みも含め依然として目標の3.0ポイントに届かない。校内研、フレッシュ研、示範授業等の研修を強化し、さらなる授業改善へ取り組む必要がある。同時に、朝の時間の活用について協議し、学力向上につながる効果的な時間としたい。そのための体制づくりは、今後早急に取り組むべき課題である。児童の体力づくりについて、3.7ポイントと大幅に伸びている。体育主任の進める鉄棒週間や縄跳び週間等の取り組みにより子供たちが意識的に外へ出るようになった。給食後の歯磨きは感染防止対策のため、中止している。